

＜鳥取県東部医師会 在宅医療介護連携推進協議会 様＞

上映日：2025年07月06日（日） 場所：鳥取県東部医師会館（鳥取県鳥取市）



在宅医療介護連携推進事業10周年記念イベント



映画上映とグループワークで、「新しい認知症観」について考える機会に

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

2年前から継続して、当推進事業に関わる関係者が集い、顔の見える関係性の構築のため、映画上映会を行っています。

今年度は、これまでの目的にプラスして、国の共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行を受け、鳥取市の認知症施策推進計画が策定されたことを踏まえて、計画の内容を関係者に周知する機会になればと思い企画しました。映画を通して、認知症ケアの理解と、「新しい認知症観」について考える機会になればという思いも込めて企画しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

東部医師会在宅医療介護連携推進会のメンバー4名

●協力の得られた団体はありましたか？

鳥取市役所とのコラボ企画としました。前述の認知症施策推進計画の内容を推進していくためにも、医療、介護、福祉に関わる専門職にも知る機会が持てるように、映画上映会に合わせて一緒に出来ることがないかということで、協力をお願いしました。

当日は鳥取市の担当者に計画の説明をしていただき、その後新しい認知症観について一緒に考えるようなグループワークを進行していただきました。

●地域へどのように告知をしましたか？

当推進事業で、地域の医療介護福祉の資源マップを作成しています。そのために全事業所のメーリングリストの管理もしています。それを使用して広報しました。

しかし一番効果があるのは口コミだと思いました。

これまで事業に関わってくださった方にDMをお送りして、来ていただいた方も多く居りました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

日々の仕事を振り返る良い機会になったと感じてくださった方が多かったように思います。

どの事業所も人員不足や、感染症を乗り越えて日々奮闘しておられるのが伝わってきました。

そのなかでも出来ることを考えてやっという、未来に向かって前向きな気持ちになってくださったように思います。

コロナ渦では人が集まる事がまずできませんでした。改めて、仲間が集まって、同じ映画に心を動かすことがいかに尊く、素晴らしい時間かと思いました。

ご担当者：國本あずさん